

主日礼拝

2024 年 07 月 28 日
午前 10 時 30 分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「それでもなお、神は上から雲に命じ
 天の扉を開き
 彼らの上にマナを降らせ、食べさせてくださった。
 神は天からの穀物をお与えになり
 人は力ある方のパンを食べた。
 神は食べ飽きるほどの糧を送られた。」
 (詩編 78:23~25)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち
 からはた一だ主にあれ一、と一こしえまで一。
 アーメン。

交読詩編 119:97~104

司式者：わたしはあなたの律法を
 どれほど愛していることでしょう。
 会衆：わたしは絶え間なくそれに心を砕いています。
 司式者：あなたの戒めは
 わたしを敵よりも知恵ある者としてます。
 会衆：それはとこしえにわたしのものです。
 司式者：わたしはあらゆる師にまさって目覚めた者です。
 会衆：あなたの定めに心を砕いているからです。
 司式者：長老たちにまさる英知を得させてください。
 会衆：わたしはあなたの命令を守ります。
 司式者：どのような悪の道にも足を踏み入れません。
 会衆：御言葉を守らせてください。
 司式者：あなたの裁きから離れません。
 会衆：あなたがわたしを教えてください。だからです。
 司式者：あなたの仰せを味わえば
 わたしの口に蜜よりも甘いことでしょう。
 会衆：あなたの命令から英知を得たわたしは
 どのような偽りの道をも憎みます。

賛美 9-1,3,4 「わが身にたまひし」

When all thy mercies, O my God
 詞： Joseph Addison, 1672-1719 曲： Thomas Ravenscroft, 1592?-1635?

1 わが身にたまひし 神のめぐみ、かみのめぐみ、
 3 かぎりなきめぐみ、日ごとたえん。
 4 とよきとよをこえて とこしえまで

ゆびおりかぞえて かみをたたえん。
 よろこびにみつる ころつきず。
 われは主にささげん、賛美と感謝。

1 わが身にたまひし 神のめぐみ、 かぎりなきめぐみ 日ごとたえん。
 指折りかぞえて 神をたたえん。 よろこびにみつる ころつきず。
 4 時と代を超えて とこしえまで
 われは主にささげん、賛美と感謝。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあげさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出したまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン
 しゅよあわれみをしゅよあわれみ
 キリエ エレイソン
 しゅよあわれみ

聖書 ヨハネによる福音書 6：41~59

新約(新共同訳)P176

41 ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から降って
 来たパンである」と言われたので、イエスのことをつ
 ぶやき始め、42 こう言った。「これはヨセフの息子の
 イエスではないか。我々はその父も母も知っている。
 どうして今、『わたしは天から降って来た』などと言
 うのか。」43 イエスは答えて言われた。「つぶやき合
 うのはやめなさい。44 わたしをお遣わしになった父が
 引き寄せてくださらなければ、だれもわたしのもとへ
 来ることはできない。わたしはその人を終わりの日に
 復活させる。45 預言者の書に、『彼らは皆、神によつ

て教えられる』と書いてある。父から聞いて学んだ者は皆、わたしのもとに来る。46 父を見た者は一人もない。神のもとから来た者だけが父を見たのである。47 はっきり言うておく。信じる者は永遠の命を得ている。48 わたしは命のパンである。49 あなたたちの先祖は荒野でマナを食べたが、死んでしまった。50 しかし、これは、天から降って来たパンであり、これを食べる者は死なない。51 わたしは、天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。わたしが与えるパンとは、世を生かすためのわたしの肉のことである。」

52 それで、ユダヤ人たちは、「どうしてこの人は自分の肉を我々に食べさせることができるのか」と、互いに激しく議論し始めた。53 イエスは言われた。「はっきり言うておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。55 わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。57 生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。58 これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。」59 これらは、イエスがカファルナウムの会堂で教えていたときに話されたことである。

賛美 79 「みまえにわれらつどい」

Let us break bread together
詞：アフロ・アメリカン・スピリチュアル 曲：アフロ・アメリカン・スピリチュアル

1 2 3
み ま え に わ れ ら つ ど い
み ま わ え に き を わ に た れ た こ た え つ た い
と も に わ か つ み 糧 を、 あ ず か る さ か ず き を も、
よ の ひ か り し ゅ 世 の 光 なる 主 の こ と ば も て 世 の 光 なる 主 の こ と ば も て
し ゅ く し た ま え。 し ゅ く し た ま え。

- 1 みまえにわれらつどい、
ともにわかつみ糧を、
よの光なる主の**ことば**もて
しよく祝したまえ。
- 2 ^{まね}み招きにこたえつつ
あずかるさかずきをも、
世の光なる主の**ことば**もて
しよく祝したまえ。
- 3 みわぎをたたえうたい、
みまえにつどう民を、
よの光なる主の**ことば**もて
しよく祝したまえ。

説教 「命のパン＝イエスさま」

賛美 56 「主よ、いのちのパンをさき」

Break Thou the bread of life
詞：Mary A. Lathbury, 1841-1913 曲：William F. Sherwin, 1826-1888

1 主よ、いのちのパンをさき、あたえたまえ、わ
2 ガリラヤにてしたしくパンをしよくしし主
3 主よ、いのちのせいれいをおくりたまえ、わ
れらに。いのりもとむひたすら、
仁スよ。しめしたまえ、われらに
れらに。かたりたまえみことば、
主のいのちのみことば。
主のまことのみことば。
みさせたまえみす

- 1 主よ、いのちのパンをさき、
あたえたまえ、われらに。
いのちの祈り求むひたすら、
主のいのちのみことば。
- 2 ガリラヤにて親しく
パンを祝しし主イエスよ。
示したまえ、われらに
主のまことのみことば。
- 3 主よ、いのちの**せいれい**
をおくりたまえ、われらに。
かたりたまえみことば、
見させたまえみす

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 喜多村 文子
説教 向井 希夫牧師
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。